

ICT通信

〈2月号〉

冬の乾燥した季節になり、インフルエンザやノロウイルス等の感染報告を耳にするようになってきました。

当院でも年末年始にかけ、病棟にてノロウイルス騒動がありました。院内感染も少なく、大事に至る前に終息しました。これも普段からのICTの啓蒙活動やラウンドの成果ではないかと思えます。

当院では、各部署のICTスタッフが毎週、担当部署のラウンドを実施しています。ラウンドとは各部署に見回りに行き、感染対策や手洗いや環境整備についての実施状況を項目ごとにチェックして回ることです。これにより職員の感染対策や手洗いに対する意識の向上に繋がっています。

毎回全ての項目をチェックしているわけではないのですが、部署ごとや、テーマごとに分けて行っています。

私の所属している放射線科でも咳をしている患者さんやインフルエンザが疑われる患者さんの撮影時はマスクをしたり、撮影後は環境整備を実施したりと感染対策を行っています。

集団感染が起こらないように、また自分自身の健康を守るようにこれからもICTスタッフ一同、ラウンドや啓蒙活動を行って行きたいと思えます。

と、執筆している時にも浜松の複数の小学校にて900人を超えるノロウイルスの集団感染が発生したというニュースが・・・

海産物の美味しい季節です。牡蠣などの二枚貝を食する際には十分に気をつけましょう。



担当：放射線科 岡田広二